

4. 投資・財政計画(収支計画)についての説明

(1) 収支計画のうち投資についての説明

- ・機械設備や電気設備の点検等を計画的に実施することで、安定的な発電を継続することができました。
- ・経年劣化による部品の故障等が発生した際は、適宜、主要部品の交換や補修を行いました。
- ・見学会の開催等、本事業の普及啓発に係る取組を、計画期間を通して実施しました。

(2) 収支計画のうち財源についての説明

- ・令和3年度までは、ハマウイングで発電した電気から環境価値分を除いた電気についての「売電収入」と、事業者の皆様からの「協賛金」により事業運営を行ってきました。なお、環境価値は「グリーン電力証書」として、協賛事業者へ口数に応じて配分しました。
- ・売電単価が下落傾向にあったことなどから、令和4年度からは、「FIT制度」を適用して売電を行っています。これにより、売電単価を一定の価格(20.88円/kWh)で、FIT適用が満了する令和9年8月まで売却することができるようになり、安定的に収入を確保できる見通しが立ちました。
- ・FIT制度の導入にあわせて協賛事業の内容も見直し、新たな事業協賛の仕組みとして「ハマウイングサポーター」を開始しました。令和5年度は、24事業者から協賛をいただいています。

(3) 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

該当なし

5. 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※計画期間の最終年度で実質収支が黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載してください

- ・将来のリプレースや事業継続の可能性を探るため、「対話によるサウンディング型市場調査」を実施しました。
令和4年度: サウンディング型市場調査(1回目)実施済
令和5年度以降: サウンディング型市場調査(2回目)実施予定